



特集

閉校

ありがとう、
ずっと忘れない

地域で築き受け継がれてきた輝かし
い141年の歴史と伝統。
この春、養源小学校と福島小学校の
2校がその歴史の幕を閉じました。





養源小学校

- 校 長 楠木良浩
- 児童数 28人
- 所在地
福島町原免
1051番地
- 創 立 明治7年



2月21日に養源小学校（楠木良浩校長、児童28人）の閉校式が行われ、児童や卒業生、地域住民など関係者約500人が出席しました。

明治7年に創立した同校は、開校以来141年の長きにわたって地域の教育、文化、住民交流の拠点として親しまれてきました。

同校の『養源魂』という言葉で表される校訓「やる気・元気・本気・根気」は、子どもたちのみならず地域の人たちの団結力や心の温かさ、熱い思いとして受け継がれてきました。

閉校式第一部の全校児童による「児童別れの言葉」では、思い出を振り返り「卒業生と私たち在校生の思い出いっぱいのかげがえのない宝物。しっかりと目に焼き付けよう。そして心の中こそっとしまおう。明日からは前を向いて歩き出そう。」

新しい夢に向かって羽ばたこう。ありがとう養源小学校。さようなら養源小学校」と学びやに別れを告げました。

また、楠木校長から松尾絃教育長に校旗が返納され、出席者全員で校歌を斉唱しました。



▲今年成人を迎えた卒業生
小嶋苑子さん(左)、島田亜美さん(中央)、中山奈桜さん(右)

第2部の思い出の会では、学校や子どもたち、地域の皆さんとの思い出を映像で紹介。映し出される懐かしい映像に、場内からは笑いが起きたり、すすり泣く声が続いてきました。

引き続き、「養源家族が見守る141年で最高のステージ」をスローガンに学習発表会が行われました。児童たちの披露する音楽劇や音読、鼓笛隊の演奏のすばらしい出来栄に、会場からは盛大な拍手が送られました。

式終了後は、青空の下で校庭に建てられた閉校記念碑の除幕式が行われました。

閉校式に出席した今年成人を迎えた卒業生たちは、卒業記念として東校舎に保管されていたタイムカプセルを開封しました。閉校のさみしさを感じながらも、思い出の品を一つずつ箱から取り出して母校で過ごした日々を懐かしんでいました。



楠木良浩さん
第48代校長

「養源地区に一度でも住んだり養源小に勤務すれば養源小の同窓生」。養源地区の皆さんの郷土愛、母校愛、団結力を強く感じました。このすばらしい地域や家族に見守られて育つ子どもたちは本当に幸せです。



松本英達さん
閉校実行委員会
委員長

141年の長い歴史の中で、私たちはこの学びやで人生の源を養っていただきました。母校愛、地域愛、家族愛につながる大切な「愛」というものを学んできました。いつまでも養源小を胸に刻んで忘れないでいただきたい。



川浪琢巳さん
PTA 会長

PTA会長として学校統合の準備委員会に参加し、地区名ではない「養源」の名を忘れ去られないように、統合後の小学校に「養源」の名をなんとか残したいという強い思いがありました。福島養源小学校でもこの団結力を発揮していきたいです。